

令和元年 7 月 2 日

西脇市長 片 山 象 三 様

西脇市まちづくり推進審議会  
会長 直 田 春 夫

西脇市地区まちづくり実践補助事業の審査結果について

西脇市地区まちづくり実践補助金交付規程に基づき、令和元年度前期申請について、令和元年6月25日開催の当部会において審査した結果、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市まちづくり推進審議会の意見として提出します。

## 記

団体名	事業名	事業費	補助金額	補助率
西脇地区コミュニティ活動推進協議会	総務部会	623,000	100,700	50
	文化部会	482,640	196,750	25・50
	体育部会	814,351	228,000	25・50
	環境保全部会	132,000	64,500	50
	事業運営委員会	482,500	31,200	50
	事務局	167,100	25,850	50
合計		2,701,591	647,000	
西脇区まちづくり委員会	環境部会	313,000	230,000	50・100
	生活情報部会	94,500	69,700	50・100
	地区整備部会	900,328	631,820	50・100
	事務局	426,050	134,480	25・50
	川下神社夏祭り	248,000	124,000	50
合計		1,981,878	1,190,000	

団体名	事業名	事業費	補助金額	補助率
よいとちがうか 日野の里推進委員 会	農業体験交流	30,000	15,000	50
	日野っ子見守り隊	25,000	11,000	50
	納涼祭	235,000	70,000	50
	ふれあいフェスティバル	260,000	40,000	50
	桜保全事業	92,000	16,000	50
	安心安全のまちづくり	10,000	5,000	50
	青少年健全育成講演会	40,000	20,000	50
	腰痛予防教室	5,000	1,500	50
	美化作業	20,000	8,500	50
	遥拝登山	50,000	3,500	50
	運営費	110,000	54,500	50
合計		877,000	245,000	
重春まちづくり協 議会	頼政祭り	109,220	43,500	50・100
	景観作り	15,460	15,000	100
	視察研修	25,000	9,500	50
	矢筈山の整備	54,540	44,000	100
	広報発行	60,500	25,000	50
	事務費	14,421	3,000	50
合計		279,141	140,000	

団体名	事業名	事業費	補助金額	補助率
野村地区まちづくり推進協議会	まちづくり推進	713,000	251,500	25・50
	第2次まちづくり計画	720,000	720,000	100
	運動会	615,000	260,000	50
	文化祭	175,000	25,000	50
	秋祭り	635,000	67,500	50
	サークル活動	70,000	21,250	25・50
	長寿いきいき費	189,000	72,000	50
	広報費	635,000	317,500	50
	花いっぱい	90,000	85,000	50・100
	イベント	378,000	178,500	50
合計		4,220,000	1,988,000	
芳田ふれあい会議	代表者会議	250,000	20,500	50
	プロジェクト部会	227,000	221,500	50・100
	地域活性部会	148,000	106,500	50・100
	安心・安全部会	21,000	9,500	50・100
	イベント部会	138,000	40,000	50
	各部会共通	24,000	12,000	50
	その他	34,000	17,000	50
	事務局	70,000	10,000	50
合計		912,000	437,000	

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙補助充当表のとおりとする。

地区まちづくり実践補助事業審査に係る審査部会意見一覧（令和元年度の主なもの）

団体名	意見
西脇地区コミュニティ活動推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西脇区まちづくり委員会との統合については引き続き前向きな検討を進めてほしい。</li> <li>・料理教室の原材料費は、受益者負担を求める観点から、報償費と同じく1/4の補助額での実施をお願いする。</li> </ul>
西脇区まちづくり委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西脇地区コミュニティ活動推進協議会との統合について前向きな検討を進めてほしい。</li> <li>・童子山公園の整備については、整備だけに留まらず、地域の資源として多様な活用方法を検討してほしい。</li> </ul>
よいとちがうか日野の里推進委員会	特になし
重春まちづくり協議会	特になし
野村地区まちづくり推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋祭りの手数料については、神輿の道路許可申請手数料であり、神事に関する経費となるため、補助対象外とする。</li> </ul>
芳田ふれあい会議	特になし

R1 地区まちづくり実践補助事業企画書概要一覧表				
団体・事業名・事業期間・事業費	事業目的	活動内容	事業効果・今後の展開	特記事項
団体名：西脇地区コミュニティ活動推進協議会 事業名：西脇地区コミュニティ活動推進事業 実施期間：H31. 4. 1～R2. 3. 31 事業費：2,701,591円 交付要望額：665,000円	区民によるコミュニティ活動を推進し、新しい地域的な連帯感に支えられ、近隣社会をつくるため、コミュニティ活動を展開する。	①総務部会 ・コミセンだより、コミセンかわら版の発行、コミセンバスツアーの実施 ②文化部会 ・コミセンまつり、区民カラオケ大会、料理教室(4回)、クリスマスリース作り ③体育部会 ・グラウンドゴルフ大会、うきうきのびのび健康体操 ④環境保全部会 ・イルミネーション電飾、花のある街づくり、とんど焼きの実施 ⑤事業運営委員会 ・精霊流し、セントラルカーニバルの実施	事業効果 コミュニティ活動の展開により、地域内の住民相互の交流を深めることができる。 「とんど焼き」や「精霊流し」など、日本の伝統行事を実施することで、若い世代に引き継ぐことができるとともに、世代間交流の場ともなる。また、高齢化率が市内で一番進んでいる地区であることから、グラウンドゴルフ大会やうきうきのびのび健康体操などを通じ、区民の健康づくりや介護予防などを図る。  今後の展開 文化・体育及びレクリエーション活動のさらなる充実と明るい地域づくりを行う。 また、若年層の参加の推進を図る。	
団体名：西脇区まちづくり委員会 事業名：西脇区まちづくり計画実践活動事業 実施期間：H31. 4. 1～R2. 3. 31 事業費：1,981,878円 交付要望額：1,190,000円	自分たちの住む地区を少しでも良くしていこうと策定した西脇区まちづくり計画の実現に向け、小さなことでもできることから実践をしていく。そして、活動を通じて、希薄化するコミュニティの再生と安全で安心して住めるまちづくりを目指す。	①全体会 ・童子山公園整備、コミセンひろば整備 ・西脇多可新人高校駅伝大会ふるまい ②地区整備部会 ・大歳神社看板補修、吉田稲荷清掃活動 ・ふれあい交流館の管理運営などの高齢化対策 ・手作りクリスマスツリー ・防災訓練 ・まちづくり先進地視察 ③生活・情報部会 ・あいさつ運動、しばざくら花壇の維持管理 ④環境部会 ・童子山わらべ滝周辺整備、花植え、童子山スケッチ、犬のフン対策 など ⑤川下神社夏祭り ・川下神社夏祭りの実施	事業効果 事業全体を通じて、小さなことでもできることから実施していくことで、「自分たちのまちは自分たちの手でよくしていく」という自立の精神と協働の中でのコミュニティの重要性を育むことができる。  今後の展開 まちづくり計画の実現に向け、できることから少しずつ進めていくことで、区民一人一人がまちづくりに対しての達成感や充実感などを共有できることを目標として活動を進める。	童子山公園整備に関しては、市の財産である童子山を区民の手で美しくすることにより、区民をはじめ市民に身近に感じてもらい、自然に触れられる場・憩いの場・安らぎの場になることを目指している。市のシンボルとも言える童子山整備に関しては、労力等については区民が協力して実施するが、事業実施に係る経費については2分の1を超えての補助金で賄えるよう要望する。
団体名：よいとちがうか日野の里推進委員会 事業名：よいとちがうか日野の里推進委員会事業 実施期間：H31. 4. 1～R2. 3. 31 事業費：877,000円 交付要望額：245,500円	日野地区区長会をはじめ、日野地区内の多様な団体、グループ等が連携・協力し、日野地区住民の誰もが安心・安全で暮らしやすいまちづくりを推進するため、必要な事業を実施する。	①農業体験交流 ・日野小学校児童を対象に農業体験事業を実施 ②日野の里ふれあいフェスティバル ・書、絵画等作品展や舞台発表、人権講演会などを実施 ③桜保全事業 ・日野地区のシンボルである「日野の郷地蔵一本桜」及び日野地区内の桜の保全、桜まつりの開催 ④腰痛予防体操 ・簡単にできる毎日の健康づくりを紹介 ⑤まちの美化清掃活動 ・ゴミ拾い等の清掃活動などまちの環境美化を実施 ⑥元旦遥拝登山 ・日野坂本線の峠において初日の出を拝する ⑦青少年健全育成講演会 ・地域の宝である青少年の健全育成を図るための講演会を実施 ○その他納涼祭、日野っ子見守り隊事業の実施 ほか	事業効果 地区内の各種団体が連携・協力して活動することにより、地域コミュニティの活性化を図るとともに、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が広がることにより地域自治の推進が期待できる。  今後の展開 地域のまちづくり活動において、コミュニティビジネス的な手法を用いることにより、持続可能な活動を展開する。	桜保全事業の原材料費については、地域住民の労力提供により実施する事業であるため、補助率2分の1を超えた補助を要望する。
団体名：重春まちづくり協議会 事業名：重春まちづくり事業 実施期間：H31. 4. 1～R2. 3. 31 事業費：279,141円 交付要望額：140,000円	住民相互の「親睦と協働」を目的として各事業を実施を通して、住民相互の意識向上と理解を深めて「重春地区の良さ」を知ることにより、地域に暮らすことの「誇り」を認識して過ごすことを目的とする。 また、「頼政祭」などの伝統行事を通して、郷土の良さを地域住民が再認識する。	①頼政まつり・歴史ハイキング ・地域の人々に「自然の豊かさ」や「歴史的な価値」を知ってもらう事業として“頼政まつりの弓道演武”“歴史ハイキング”などを実施する。 ・今年度は、頼政祭の40周年を記念し、「獅子王の奉供」を実施。 ②景観づくり ・地区内のコスモスの生育 ③先進地視察 ・まちづくり先進地の視察 ④矢筈山の整備 ・杭、ロープの設置 ⑤広報発行 ・将来に亘って「住んでよかった」と思ってもらえる重春地区を目指し、様々な情報の広報活動を行う。	事業の効果 重春地区は自然と歴史の豊かな地域であり、それを住民はもちろん、他地区の方々や、市外の方にも実感してもらえる。 重春地区をはじめ、他の地域の方も含めて協働と連帯の広がりや人の融和を深めることができる。  今後の展開 色々なまちづくり事業を継続することにより、世代を超えた相互理解を深めることができる。そのため、多くの方に事業に関する価値を知ってもらえるよう情報を発信していく。	矢筈山の整備については、地域の有志の方に労力を提供してもらう。そのため、整備に関する原材料費については補助率2分の1を超えた補助金で賄えるよう要望する。

団体・事業名・事業期間・事業費	事業目的	活動内容	事業効果・今後の展開	特記事項
団体名：野村地区まちづくり推進協議会 事業名：令和元年度野村地区まちづくり事業 実施期間：H31. 4. 1～R2. 3. 31 事業費：4,220,000円 交付要望額：2,014,000円	今後の野村地区を住みよいまちにしていくため、第2次まちづくり計画の策定に取り掛かります。 また、運動会や文化祭、秋祭り、夏まつり、8つのサークル活動（気功、パソコン勉強会、茶道教室など）、敬老会、いきいきサロンなど多様な事業を通して、野村地区の多世代のコミュニケーションを深め、交流を図ります。 西脇市駅や野村公園などへの植栽を中心とした花いっぱい運動や、年末年始の西脇市駅前のイルミネーション装飾の実施などを通して「文教地区として誇れる、こころかよいあう美しい野村」を住民が一致団結をしてつくり上げていく。 加えて、地区全体の防災訓練を実施し、安全で効率的な避難経路をみんなで確認し、習得することを通して町民の防災・減災意識の高揚を図るなど、安全、安心のまちづくりを進めていく。	①まちづくり推進事業 ・まちづくり活動に関する消耗品費、通信運搬費、保険代等 ②第2次まちづくり計画策定 ・第2次まちづくり計画策定に向けたワークショップの実施 ③運動会 ・多世代交流を目的に運動会を実施 ④文化祭 ・文化祭を毎年開催（みらいえで実施予定） ⑤秋祭り ・10月に秋祭りを開催 ⑥サークル活動 ・詩吟、パソコン勉強会、気功、木工クラブ、毛筆サークル、茶道等のサークル活動を実施 ⑦長寿いきいき費 ・野村地区の高齢者を対象とした敬老会の実施 ⑧広報紙の発行 ・年4回(8,100部)広報紙を発行 ⑨花いっぱい事業 ・西脇市駅、野村公園などへの花植エイベントの実施 ⑩イベント事業 ・西脇市駅前イルミネーション装飾の実施 ・しばざくら通り夏祭り盛り上げ事業	事業効果 各種事業の実施により、住民同士の連帯感と協働意識の高揚が図れるとともに、各種団体との協働やボランティア活動によって世代間を超えた交流が図れ、親睦と調和が生まれる。また、コミュニケーションが良好になることで地域住民がつながり、野村地区の今後の展望を考える際に、様々な意見を反映し、話し合いがしやすくなる。 昨年度からの継続した取組である第2次まちづくり計画の策定については、今後の野村地区のまちづくり活動を進めていくうえでの方針となり、持続可能な地域運営を進めていく第一歩となる。  今後の展開 今後はより一層、野村地区まちづくり推進協議会の委員がまちづくり活動についての中心的な役割を果たし、野村地区の活動推進組織として進めていく。委員については任期が終了した後も、事業の継承のために活動に参加し、協働を進めていく体制をつくる。 事業を実施するもの自身が、活動を楽しみ、喜んで参加できるように自由に話し合える会議(場)をつくり、既存の女性会や民生・児童委員、公民館役員、子ども会などと整合性をとり、野村地区住民のまちづくりへの参画を促進していく。	花いっぱい事業の原材料費については、地域住民の労力提供により実施する事業であるため、苗代、肥料代等原材料費の2分の1を超えての補助を要望する。 また、地区まちづくり計画の再編に係る経費については補助率2分の1を超えての補助金で賄えるよう要望する。
団体名：芳田ふれあい会議 事業名：芳田地区まちづくり推進事業 実施期間：H31. 4. 1～R2. 3. 31 事業費：912,000円 交付要望額：437,000円	芳田地区では「芳田地区まちづくり計画の提案書(平成18年度版)」を実践推進するために、平成18年8月に芳田地区区長会をはじめ芳田地区内の各種団体が結集して芳田ふれあい会議を結成した。そして、平成27年度末には芳田地区の10年先を見通した新たなまちづくり計画である「芳太の里“ゆめ”プラン2015」を策定した。それを受け、プランの具体化、実践をめざし、芳田ふれあい会議が中核となって、これまでの事業の継続及び強化を図りながら、新たな事業の取組も行い、芳田地区のまちづくりをさらに推進していきたいと考えている。 特に今年度は、芳田地区区長会と芳田ふれあい会議が中心となって、今一度、法太の里“ゆめ”委員会を立ち上げ、「法太の里“ゆめ”プラン2015」を見直して、今後の芳田地区の具体的指針となる「芳田地区まちづくり行動計画」を策定することを重点事業とし、芳田を元気にして住民誰もが活き活きと暮らしていくことができる芳田の里づくりを目指す。	①代表者会議 ・2019芳田ふれあいまつり ②プロジェクト部会 ・公共交通についての調査研究 ・芳田まちづくり行動計画策定 ・野間川芳田公園清掃 ③地域活性化部会 ・芳田の里花いっぱい事業 ・芳田ふれあい直売所・ふれあいサロンの運営 ・芳田ふれあい直売所の充実 ・芳田クリーン作戦 ④安心・安全部会 ・芳田地区合同防災訓練 ・芳田地区防犯・交通学習会 ⑤イベント部会 ・芳田街道イルミネーション ・角尾山登山道整備 ・角尾山ふれあい登山 ・芳田ふれあいスポーツフェスティバル ⑥各部共通 ・まちづくり先進地視察研修 ・芳田ふれあい会議・各部会の開催 ほか	事業効果 住民間の交流事業を通して、住民相互に連帯感を高めることができ、地区コミュニティの強化が図られ地域の活性化が期待できる。  今後の展開 住民主導で芳田地区ならではの事業展開を今後も継続していく予定であるが、現在、芳田ふれあい会議の事業の中で収益を生み出すものはない。区長会の助成金だけでは事業を縮小していかざるを得ず、補助事業が継続することを望む。	各種事業において、住民参加を広く求めながら、労力を提供してもらっている。経費については以下の費用(原材料費)について、2分の1を超えての補助を要望する。  芳田の里花いっぱい運動 ・花の土、花苗代等材料費 地区合同防災訓練 ・コンパネ  また、今年度は芳田地区まちづくり計画を策定予定であり、それに係る費用についても、2分の1を超えての補助を要望する。

令和元年 7 月 16 日

西脇市長 片 山 象 三 様

西脇市まちづくり推進審議会  
会長 直 田 春 夫

西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果について

西脇市市民提案型まちづくり事業補助金交付規程に基づき、令和元年度申請について、令和元年 7 月 8 日開催の当部会において審査した結果、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市まちづくり推進審議会の意見として提出します。

団体名	事業名	事業費 (補助要望額)	補助金額 (補助対象額)	補助率 (%)
西脇市吹奏楽団	西脇市吹奏楽団活動事業	1,056,000円 (300,000円)	300,000円 (866,000円)	28.4
西脇市を考える会	西脇市政への参画促進事業	260,000円 (230,000円)	230,000円 (260,000円)	88.4
西脇市トレーニング推進委員会	産後ママトレーニング事業	200,000円 (180,000円)	0円 (0円)	不採択
マザーズスマイル	子ども・家庭・地域支援事業	320,000円 (300,000円)	300,000円 (310,000円)	93.7
まるんぐらっせ	地域歴史を学ぶ講談で地域が元気事業	150,000円 (70,000円)	70,000円 (110,000円)	46.6
合 計		1,986,000円 (1,080,000円)	900,000円 (1,546,000円)	—

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙審査個票のとおり。

市民提案型まちづくり事業審査に係る意見（令和元年度 前期申請）

団体名	意見
西脇市を考える会	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業実施に当たっては、政治的な活動及び選挙運動にならないよう慎重な事業実施に努めること。</li><li>・会内の意思統一を図ったうえで事業を実施すること。</li></ul>
西脇市トレーニング推進委員会	<ul style="list-style-type: none"><li>・資機材についての必要性を証明する必要がある。</li><li>・事業の安全性（医療的な側面や備品使用に関して）を検証し担保する必要がある。</li><li>・営利事業につながる場合は、補助対象外となる。</li><li>・今回は補助を見送るが、事業を行う過程で効果が得られることが実証されたら、その実績をもって後期募集での補助が可能である。</li></ul>



実施団体	西脇市吹奏楽団 代表 杉本 昌謙 (会員70名)					西脇市を考える会 代表 大前 道廣 (会員19名)					西脇市トレーニング推進委員会 代表 笹倉 絢子 (会員6名)						
事業名	西脇市吹奏楽団活動事業					西脇市政への参画促進					産後ママトレーニング						
事業概要	対象地域	市内全域		実施期間	31.4.1 ~ 2.3.31	対象地域	市内全域		実施期間	31.4.1 ~ 2.3.31	対象地域	市内外全域		実施期間	1.6.1 ~ 2.3.31		
	予算	¥1,056,000	要望額	¥300,000	補助対象額	¥866,000	予算	¥260,000	要望額	¥230,000	補助対象額	¥260,000	予算	¥200,000	要望額	¥180,000	補助対象額
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>吹奏楽を通じて地域文化の振興に寄与することを目的とし、世代を超えて交流を行い次世代へ文化活動を継承していく。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>西脇市民が市政を身近に考える機会をつくることを目的とする。</li> <li>市民の声や要望事項について意見交換を行い、市政に反映する。</li> <li>市政の課題について市民と意見交換を行い、市議会の活性化を図る。</li> <li>若い人たちが市政に関心を持つ環境づくりを行う。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>育児中の母親は、家での家事仕事が多く外に出る機会や場所がないため、筋力や体力の低下など健康面に不安がある。</li> <li>育児中の母親がトレーニングできる場を設けることで、筋力・体力の向上はもちろん、同じ悩みを持つ母親同士の交流の場をつくる。</li> </ul>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同練習・合同演奏</li> <li>近隣の中学校吹奏楽部と練習を行い世代を超えた交流を行う。</li> <li>演奏依頼行事への参加</li> <li>市の行事や施設などからの依頼への参加</li> <li>土曜日を中心とした週1回の練習</li> <li>定期演奏会の開催</li> <li>毎年定期的に行い、その活動の成果を発表する。</li> <li>兵庫県吹奏楽コンクールへの参加</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>「ワークショップ」形式等により専門家を招き、提案と助言をもとに市政及び議会について考える。</li> <li>投票行動に結び付けるために若い世代の代表者、女性の代表者などとコンタクトをとり、その関係者の参加を求める。</li> <li>SNSやフェイスブック等で情報発信をし、多くの人を呼び込む。</li> <li>年3回を目標に実施する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>育児中の母親に、西脇市内の施設において週に1度子どもを連れてママトレーニングができる場を設ける。</li> <li>トレーニングに関しては専門家によるプログラムを使用し、個別のパーソナルトレーナーを派遣してもらえらる団体と連携する。</li> <li>パーソナルトレーナーをつけない場合はトレーナー料不要で、会員が補助員として安全面に配慮し常駐する。</li> </ul>						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>吹奏楽（音楽）はスポーツのジャンルと比較すれば、世代を超えて交流することのできる活動であると捉えている。</li> <li>年齢、性別、技能の差を超えて、互いに影響を与えながら活動を行うことができる。</li> <li>活動を通じて市民が互いに影響しあい、音楽を通じた生涯教育活動の場としての一端を担うことができる。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの市民（特に若い世代）が市政、議会活動に関心を持ち、目を向け、一市民としてどうあるべきかを考え、同世代に広げていくことにより市政の活性化に繋げていく。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>育児中の母親がトレーニングできる場を設けることで、筋力、体力の向上はもちろん、同じ悩みを持つ母親同士の交流の場をつくる効果が得られる。</li> <li>家事に追われるストレスを、外に出られる場として緩和させリフレッシュする効果が得られる。</li> <li>1～3人程度の少人数を対象としているため、人付き合いが苦手な母親でも利用でき、情報を得られる窓口となる効果がある。</li> </ul>						
事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>年に1回開催する定期演奏会は、クラシック、ジャズ、歌謡曲など多様なジャンルのプログラミングにより、吹奏楽を聞いたことのない市民の方々も足を運びやすい構成にしている。</li> <li>市内の吹奏楽部に在籍する中学生・高校生の研修の場として、概ね全員が演奏会を鑑賞している。</li> <li>西脇市において音楽を愛好し、生涯にわたって活動を行うことができる環境の選択肢の1つになることを願っている。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃、市政に無関心と言われる若い人たちに、市政、議会活動に関心を持ってもらう機会を提供する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>企業が提案しにくい低料金、少人数性プランが特色である。</li> <li>育児情報を得やすく、社交性の高い母親でなく、人付き合いが苦手な母親でも利用しやすい。</li> <li>簡単なストレス発散としてのトレーニングから、育児中でもパフォーマンスを維持したいアスリートにまでプランを提供できる。</li> <li>トレーニングを専門とするトレーナーを付けるオプション（有料）や、育児を専門とする講師を呼んで講習会も開催する予定（無料）</li> </ul>						
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の部活動など短期間の活動ではなく、生涯にわたった活動をねらいとしているため、プロの演奏家を招聘した活動を取り入れることにより、団員は勿論のこと、西脇市をはじめ、近隣市町と吹奏楽を通じた市民交流を図り、西脇市の文化振興に寄与したいと考える。</li> <li>吹奏楽を聞いたことや興味がなかった方々にも楽しんでもらえるような演奏を目指し、定期演奏会を継続していきよう週1回の練習を継続し、世代を超えて演奏技能の向上を図る。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>「西脇市を考える会」として昨年度行ってきた事業活動を通して、一人でも多くの市民が市政、議会を注視し、自分たちが選んだ議員がどのように活動しているか、選んだ者の責任として観察することがいかに大事かを知ってもらう。</li> <li>頼まれたから投票したではなく、本当に市民のために汗を流してくれる人を自分たちで見つけ議会に送り込めるような活動を推進する。</li> <li>特に若い人たちが参画できる環境づくりを展開していく。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>1～3人程度の少人数制で開始し、人数が増えれば人数に見合った場所を借りて事業化させる。</li> <li>月1回程度、広報誌やトレーニングネットワークを活用し、案内チラシなどで周知を図る。</li> <li>育児を専門とする講師による講習会などを開催（予定）</li> </ul>						

実施団体	マザーズスマイル 代表 森脇 登志子 (会員35名)					まろんぐらっせ 代表 藤井 誠 (会員12名)					
事業名	子ども・家庭・地域支援事業					地域歴史を学ぶ講談で地域が元気事業					
事業概要	対象地域	市内外全域		実施期間	31.4.1 ~ 2.3.31	対象地域	市内全域		実施期間	1.5.6 ~ 1.9.30	
	予算	¥320,000	要望額	¥300,000	補助対象額	¥310,000	予算	¥150,000	要望額	¥70,000	補助対象額
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども、家庭、地域とのつながりを大切にし、子育て支援を通してまちづくりを目指す。</li> <li>子どもたちが心身ともに健やかに成長するための『体験の場作り』、親子・家庭でのコミュニケーション講話、地域における異世代交流等を通して家庭の教育力・地域の教育力の向上を目指す。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>平成15年から実施している講談の会を本年度も開催することにより、日本古来の伝統芸能を通じた文化の向上と地域歴史の伝承を図る。</li> <li>また、地域住民の交流の場とする。</li> </ul>					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子ふれあいコンサートの実施</li> <li>親子を対象とした食育や野外活動の実施</li> <li>出張事業</li> <li>こども園や幼稚園、いきいきサロン等で交流活動や伝承劇などのプログラムを実施</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>第13回講談の会の実施</li> <li>日時：令和元年7月4日(木)19時開演</li> <li>対象者：全市民が対象(一部多可町民も参加)</li> <li>場所：日野地区会館サンバル日野</li> <li>出演者：講談師「旭堂南海氏」</li> <li>演目：「いだてん」から「嘉納治五郎物語」「播州織の父『飛田安兵衛』」</li> </ul>					
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接、本物の文化に触れることで、心豊かな感性を育み表現力を養うことができる。</li> <li>親子で鑑賞することにより、親子のつながりを深めるきっかけ作りができる。</li> <li>自分の身体にとって大切な事が何かを知ることにより、生活習慣やコミュニケーション力を見直し向上することができる。</li> <li>伝統文化を知ること、現在もしくは未来を考えるきっかけとする。</li> <li>各活動を計画する中で、社会参画する場の提供を担う。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>1席では身近な話題のNHK大河ドラマ「いだてん」から「嘉納治五郎物語」を、2席では「飛田安兵衛」を講談という形で演じ、観る・聴くことにより地域の歴史知識の向上と郷土愛を高めることができ、もって、住みよい地域づくりに貢献できる。</li> </ul>					
事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近で、かつ安価でコンサートを実施することにより、本物の音楽・文化に触れる機会を得ることができる。</li> <li>生活習慣の見直しや健康に関してなど、学習色の強い内容を、参加型やシアター形式で実施することにより、楽しみながら学び合うことができる。</li> <li>孤独になりがちな子育て中の保護者の居場所の提供。</li> <li>様々な知識を伝えることにより、少し先の未来に目を向ける機会を提供することができる。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>サンバル日野を拠点として、サンバル日野での文化発表の場等で環境やオレオレ詐欺など身近な課題の寸劇を行ったり、国道427号交差点の季節の花の植栽などのボランティア活動行ってきたグループ「まろんぐらっせ」による手づくり講談の会も今年で13回目となる。</li> <li>講談師には西脇市でも昵懇の「旭堂南海」氏に低価格で出演いただける。</li> <li>活動は、市内や多可町などで同様の活動を行っているグループとの交流の場にもなっている。</li> </ul>					
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の趣旨をより多くの方に伝えていく。</li> <li>ポスターやちらし等で周知する。</li> <li>健康劇や伝承劇等の実施に向け、こども園等に働きかける。</li> <li>周知のための情報提供の方法を工夫する。</li> <li>在宅親子等のつながりの輪を広げ、子育て支援の居場所づくりとする。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>講談の会も13回目と定着してきたことから、日野地区まちづくり協議会「よいとちがうか日野の里」の文化事業として継続開催していくことができないか調整を考えている。</li> </ul>					